

アンカロン注 150

【この薬は？】

販売名	アンカロン注 150 Ancaron Injection
一般名	アミオダロン塩酸塩 Amiodarone Hydrochloride
含有量 (1 アンプル中)	アミオダロン塩酸塩 150mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、不整脈治療剤と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・この薬は心臓に作用し、心臓の異常な興奮を抑えて、脈の乱れを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

○生命に危険のある下記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合

心室細動、血行動態不安定な心室頻拍

○電氣的除細動抵抗性の心室細動あるいは無脈性心室頻拍による心停止

- ・Brugada 症候群およびカテコラミン誘発性多形性心室頻拍に対するこの薬の効果は確認されていません。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬は難治性かつ緊急を要する致死的不整脈のある人にものみ使用されます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・洞性徐脈、洞房ブロック、重度伝導障害または洞不全症候群があり、ペースメーカーを使用していない人
- ・循環虚脱または重篤な低血圧のある人
- ・過去にアンカロン注に含まれる成分、またはヨウ素で過敏症のあった人
- ・リトナビル（ノービア）、ニルマトレルビル・リトナビル（パキロビッド）、ネルフィナビルメシル酸塩（ビラセプト）、クラス Ia（プロカインアミド、キニジン等）およびクラス III（ソタロール（ソタコール）、ニフェカラント（シンビット））の抗不整脈薬、ペプリジル塩酸塩水和物（ペプリコール）、モキシフロキサシン塩酸塩（アベロックス）、ラスクフロキサシン塩酸塩 [ラスビック点滴静注（注射剤）]、エリスロマイシン [注射用エリスロシン（注射剤）]、ペンタミジンイセチオン酸塩（ベナンボックス）、トレミフェンクエン酸塩（フェアストン）、フィンゴリモド塩酸塩（イムセラ、ジレニア）、シポニモド フマル酸（メーゼント）またはエリグルスタット酒石酸塩（サデルガ）を使用中の人
- ・重篤な呼吸不全のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・甲状腺機能障害のある人または過去に甲状腺機能障害になったことがある人
- ・低血圧および非代償性心筋症のある人
- ・重篤な心不全のある人
- ・心電図上 QT 延長のみられる人
- ・間質性肺炎、肺炎、肺線維症のある人および肺拡散能の低下した人、並びに過去に肺障害があった人
- ・低体重の人
- ・心臓移植待機中の人
- ・重篤な腎機能低下のある人
- ・重篤な肝機能低下のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬（○次の人は、この薬を使用することはできません。を参照）や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や新たに使用する場合には、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○甲状腺機能障害がある人または過去に甲状腺機能障害になったことがある人は、可能であればこの薬の使用前に甲状腺機能検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用する場合、血圧、肝機能検査、心電図検査等が行われます。
- ・この薬とレジパスビル／ソホスブビル配合剤（ハーボニー配合錠）との併用により、徐脈などの不整脈があらわれるおそれがあり、海外において死亡例も報告されています。レジパスビル／ソホスブビル配合剤との併用は可能な限り避けられますが、やむを得ず併用する場合は、併用開始前に徐脈などの重篤な不整脈が発現する危険性があることについて十分に理解できるまで説明を受けてください。不整脈の徴候または症状（失神寸前の状態または失神、めまい、ふらつき、倦怠感（けんたいかん）、脱力、極度の疲労感、息切れ、胸の痛み、錯乱、記憶障害など）が認められた場合には、速やかに担当医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。この薬を使用する場合は、この薬による危険性について十分理解できるまで説明を受けてください。（妊娠中にこの薬を使用し、新生児に先天性の甲状腺腫、甲状腺機能低下症や甲状腺機能亢進症があらわれたとの報告があります。）
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・セイヨウオトギリソウを含有する食品は、この薬の効果に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、咳、息切れ、息苦しい

重大な副作用	主な自覚症状
肝炎 かんえん	体がだるい、発熱、体がかゆくなる、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、上腹部痛、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	体がかゆくなる、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
肝不全 かんふぜん	体がかゆくなる、急激に体重が増える、意識の低下、白目が黄色くなる、血を吐く、お腹が張る、皮膚が黄色くなる、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、尿の色が濃くなる
既存の不整脈の重度の悪化 きぞんのふせいみやくのじゅうどのあつか	めまい、気を失う、動悸（どうき）、脈が遅くなる、脈がとぶ
Torsade de pointes トルサド・ド・ポアント	めまい、気を失う、動悸
心停止 しんていし	気を失う
血圧低下 けつあつていか	脱力感、ふらつき、めまい、立ちくらみ、意識の消失
徐脈 じよみやく	めまい、立ちくらみ、気を失う、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ
心不全 しんふぜん	疲れやすい、むくみ、体重が増える、息苦しい、息切れ
甲状腺機能亢進症 こうじょうせんきのうこうしんしょう	体重が減る、汗をかきやすい、微熱、イライラする、動悸、脈が速くなる、手指のふるえ
無顆粒球症 むかりゆうきゆうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はつけっきゆうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並べ替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、体がだるい、体がかゆくなる、疲れやすい、力が入らない、急激に体重が増える、脱力感、ふらつき、むくみ、体重が増える、体重が減る、汗をかきやすい、微熱、突然の高

部位	自覚症状
	熱、寒気
頭部	意識の低下、めまい、気を失う、立ちくらみ、意識の消失、イライラする
眼	白目が黄色くなる
口や喉	咳、吐き気、嘔吐、血を吐く、喉の痛み
胸部	息切れ、息苦しい、動悸
腹部	上腹部痛、食欲不振、お腹が張る
手・足	脈が遅くなる、脈がとぶ、脈が速くなる、手指のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	アンカロン注 150
性状・剤形	淡黄色澄明の液（注射剤）
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	アミオダロン塩酸塩
添加剤	ベンジルアルコール、ポリソルベート 80

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：サノフィ株式会社 (<https://www.sanofi.co.jp/ja/contact>)
くすり相談室
フリーダイヤル：0120-109-905
月～金 9:00～17:00（祝日・会社休日を除く）